

## 事業の概要

少子高齢・人口減少が進み、地域社会が大きく変化し続ける中、共同募金運動を取り巻く環境は厳しさが増しており、本県の募金実績は、平成11年度の10億7千万円余をピークに、年々減少が続き、この10年間は7億円台で推移している。

このような状況のもと、本会では、平成30年3月に策定した「福岡県における共同募金運動の方向性と推進方策」について、各支会役職員を対象とする会議・研修会や本会職員による個別訪問等を通じ、内容の一層の理解と情報等の共有化に努めた。

広報活動については、福岡ソフトバンクホークス及び赤い羽根応援大使である上林誠知選手と石川柊太選手の協力のもとポスター・チラシを作成・配布するとともに、ホームページや広報誌の活用、イベント時のマスコミへの取材依頼、児童・生徒に対する福祉教育の一環として取り組んでいる赤い羽根キャッチフレーズ募集など、積極的に取り組んだ。

一方、各市区町村支会においては、役職員はもとより、ボランティアの方々の協力をいただきながら、募金実績の7割以上を占める戸別募金の確保に向け様々な取組を行った。また、法人募金や職域募金の新規開拓、「赤い羽根自販機」の設置推進等にも積極的に取り組んだ結果、県全体では前年の募金実績をわずかではあるが、上回ることができた。

こうした様々な取組を通じて県民の皆様から寄せられた一般募金及び歳末たすけあい募金の配分に当たっては、社会福祉法第115条に基づく配分委員会を設置することとされており、本会では外部有識者も加わった同委員会を開催し、申請施設・団体の調査及び審査を実施の上、公正な配分を執り行った。

さらに、令和元年8月豪雨災害に際しては、佐賀県内の災害ボランティアセンター運営支援のための福岡県内社協職員派遣について、本会独自の積立てである災害配分等引当金を活用して支援した。加えて、同年10月の台風19号災害においては、中央共同募金会からの要請に基づき、毎年、募金の一定割合を積み立てている災害等準備金を拠出することにより、被災地の復興支援に取り組んだ。

本年度の具体的な取組は、次のとおりである。

## 1 法人の運営

### (1) 評議員会の開催（3回）

第209回評議員会 (定時評議員会)	令和元年	6月26日	春日市
第210回評議員会	令和2年	2月14日	(決議の省略)
第211回評議員会	令和2年	3月27日	(決議の省略)

### (2) 理事会の開催（5回）

第342回理事会	令和元年	6月6日	春日市
第343回理事会	令和元年	6月21日	(決議の省略)
第344回理事会	令和元年	6月26日	春日市
第345回理事会	令和2年	1月14日	(決議の省略)
第346回理事会	令和2年	3月13日	春日市

### (3) 監事会の開催（1回）

監事会	令和元年	5月28日	春日市
-----	------	-------	-----

### (4) 評議員選任・解任委員会の開催（2回）

評議員選任・解任委員会	令和元年	6月6日	春日市
評議員選任・解任委員会	令和2年	1月24日	(決議の省略)

## 2 市区町村支会の支援

### (1) 会議等の開催

ア 新任者研修会	平成31年	4月25日	春日市	37名
イ 担当職員研修会	令和元年	9月10日	春日市	33名
ウ 支会会長・事務局長会議	令和2年	2月27日	春日市	50名

### (2) 個別支援の実施

- ア 市区町村支会の各種会議・研修会等への本会職員の派遣（6市1地区）
- イ 市区町村支会への本会職員による個別訪問（12市区町）

## 3 広報活動の強化

### (1) 赤い羽根データベースシステム「はねっと」による情報公開の推進

中央共同募金会ホームページ上に開設されているデータベースシステムを活用し、配分使途等の情報を公開した。

### (2) 福岡県共同募金会ホームページによる情報公開の推進

本会ホームページにおいて、共同募金運動等の情報を公開した。

### (3) 赤い羽根応援大使等による広報啓発

福岡ソフトバンクホークスの全面的な協力のもと、上林 誠知選手、石川 柊太選手に赤い羽根応援大使（以下、応援大使）に就任いただき、ポスター・チラシ・パンフレットへの写真掲載や募金活動を通して、共同募金運動のPRに協力いただいた。

また、共同募金運動啓発のため、応援大使の出席のもと、本年度の新たなポスター等の一般公開及び募金推進キャッチフレーズの記者発表会を実施した。

#### ア 記者発表会

期 日 令和元年 9月 3日

場 所 福岡ヤフオク！ドーム内 プレスカンファレンスルーム

さらに、平成25年度から採用している球団マスコット（ハリーホーク）と赤い羽根がコラボレーションしたバッジを本年度も作製し、広報活動を強化した。

### (4) 広報活動の推進

#### ア 広報啓発資材の活用

##### (ア) 全戸配布チラシの作成・配布

前年度の募金配分結果及び今年度の募金への協力依頼を掲載。

976, 500部

なお、本チラシの裏面を活用し、地元の情報を織り込んだ地域版チラシを作成した支会が62カ所に上った。

##### (イ) 街頭募金用チラシの作成・配布

24, 500部（18支会）

##### (ウ) 共同募金パンフレットの作成・配布

20, 900部（46支会）

##### (エ) 共同募金リーフレットの作成・配布

13, 700部（24支会）

##### (オ) 共同募金ボランティアハンドブックの作成・配布

29, 800部（50支会）

##### (カ) 募金運動啓発ポスターの作成・掲示

県内の学校、社会福祉施設、社会福祉協議会、銀行等に掲示。

17, 370枚

#### イ 封筒の裏面活用

本会封筒の裏面を活用し、配分使途等の情報を広く周知した。

13, 500部

#### ウ 福岡県社会福祉協議会広報誌への広報依頼

県社協広報誌「ふくおかのふくし」（20, 000部発行、3, 895カ所に年4回配布）に共同募金の取組に関する記事の掲載を依頼し、県民の方々へ理解と協力を求めた。

エ マスコミによる広報推進

共同募金運動に係る各種イベント開催や新規取組など、資料提供や取材依頼を行うことにより、新聞・テレビ・ラジオ等の協力による広報活動を展開した。

## (5) 福祉教育の推進

共同募金運動や社会福祉全般についての県民の理解促進や福祉教育の一環として、福岡県、北九州市、福岡市の各教育委員会の後援のもと、児童・生徒に対し、募金運動推進キャッチフレーズを公募した。

共同募金推進委員会による選考を経て、最優秀作を本年度の運動推進のキャッチフレーズとして活用した。

ア 募集期間

平成31年 4月22日から 令和元年 6月 3日まで

イ 応募総数

4,085点(小学校13校・中学校9校・高校8校・特別支援学校5校の計35校)

ウ 入選作品及び特別賞

(ア) 最優秀作 「つなげよう みんなの笑顔 この羽根で・・・赤い羽根共同募金」  
山本 一太さん(福岡県立八幡高等学校2年・北九州市八幡東区)

(イ) 優秀作 11作品

(ウ) 特別賞 19校

エ 表彰

最優秀作受賞者に対して、福岡県社会福祉大会表彰式において表彰を行った。

また、優秀作受賞者及び特別賞受賞校は、該当支会代表者とともに各学校を訪問し、表彰状の授与を行った。

## 4 募金推進への取組

### (1) 共同募金推進委員会の開催

第1回 令和元年 6月27日 春日市

第2回 令和2年 3月 3日 春日市

### (2) 市区町村支会モデル指定事業の実施

共同募金の実績向上を図るため、田川市・新宮町・上毛町の3支会をモデル指定し、地域の実情を踏まえ、関係機関協働による新たな取組を行った。

### (3) 赤い羽根自販機の設置促進

売上の一部が募金される自動販売機「赤い羽根自販機」の設置を促進し、本年度は11市町に31台の赤い羽根自販機が新たに設置された。

※赤い羽根自販機設置状況 49市町 404台(令和2年3月31日現在)

#### (4) 募金百貨店プロジェクトの普及・啓発

売上の一部が募金される寄付つき商品「募金百貨店プロジェクト」の普及・啓発に努め、各支会・企業等と共同して開発等を行った結果、本年度は新たに3社の寄付つき商品が誕生した。

※協力企業・事業所数 15市町 119社（令和2年3月31日現在）

### 5 募金実績及び募金活動の取組

#### (1) 目標額及び実績額

##### ア 一般募金

目標額は、各支会の前年度（平成30年度）実績額とした。

(ア) 目標額 620,961,775円

(イ) 実績額 630,011,955円

##### イ 歳末たすけあい募金

目標額は、各市区町村社会福祉協議会の申請額をもとに募金計画を作成し、関係支会・機関一体となって運動を展開した。

(ア) 目標額 96,771,334円

(イ) 実績額 97,851,878円

a NHK歳末たすけあい募金（県域） 14,431,852円

協力企業・団体…NHK福岡放送局・NHK北九州放送局・福岡銀行・西日本シティ銀行・筑邦銀行・福岡中央銀行・北九州銀行・福岡県信用農業協同組合連合会・福岡県信用漁業協同組合連合会・西日本新聞民生事業団

b 地域歳末たすけあい募金 83,420,026円

※地域歳末たすけあい運動実施支会 34支会

##### ウ 地域課題解決型募金（テーマ型募金）

目標額は、参加団体の使途計画における申請額に事務経費等を加えた額とした。

(ア) 目標額 1,090,000円

(イ) 実績額 808,778円

エ 実績額合計 728,672,611円

※平成30年度募金実績 724,484,696円

## オ 募金方法別実績

(単位 円)

募金方法	一般募金		歳末たすけあい募金		テーマ型募金	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
戸別募金	443,063,927	70.33%	73,042,916	74.65%		
街頭募金	5,592,140	0.89%	947,184	0.97%		
法人募金	83,022,157	13.18%	4,731,482	4.83%	600,000	74.19%
学校募金	3,924,959	0.62%	234,876	0.24%		
職域募金	13,072,186	2.07%	2,688,470	2.75%		
イベント募金	4,084,122	0.65%	224,860	0.23%		
バッジ募金	3,167,840	0.50%				
クオカード募金	13,139,532	2.08%				
図書カード募金	5,770,340	0.92%				
ボールペン募金	3,337,562	0.53%				
個人募金	29,353,146	4.66%	13,268,300	13.56%	12,000	1.48%
自販機募金	10,186,592	1.62%				
寄付つき商品	739,014	0.12%				
その他	11,558,438	1.83%	2,713,790	2.77%	196,778	24.33%
合計	630,011,955	100.00%	97,851,878	100.00%	808,778	100.00%

## (2) 一般募金の取組

## ア 街頭募金・啓発等

## (ア) 本 会

## a 赤い羽根空の第一便伝達式

本年度の共同募金運動の開始を広く県民に周知することを目的に、全日空の第一便で届いた赤い羽根や厚生労働大臣及び中央共同募金会会長のメッセージを、福岡県知事や本会会長等に伝達いただいた。

また、前年度の募金の受配団体代表者からは、共同募金に協力いただいた県民に対し、感謝の気持ちをアピールしていただいた。

(a) 期 日 令和元年10月 1日

(b) 場 所 ソラリアターミナルビル1階 ライオン広場 (福岡市中央区)

## b 初日街頭募金

伝達式終了後、西鉄福岡(天神)駅周辺でボランティア20名の協力を得て、初日街頭募金を行った。

また、当日は、にしてつグループの協力のもと、西鉄福岡(天神)駅をはじめ、西鉄電車主要各駅の駅員、西鉄グランドホテル・ソラリア西鉄ホテルの接客スタッフ、にしてつストア各店のスタッフの皆さんが各職場で「赤い羽根」を胸に着け、共同募金運動の開始をアピールしていただいた。

(イ) 支 会

県内の51支会で、延べ294回の街頭募金を行い、協力を呼びかけた。

イ 募金資材の活用

(ア) 着ぐるみ（愛ちゃんと希望くん）の貸出し

県内の19支会の催事に合わせ、延べ38回の着ぐるみ貸出しを行い、広報啓発に活用した。

**(3) 歳末たすけあい募金の取組**

経済的困窮や社会的孤立など生活に困難を抱えている方々に温かい年末年始を迎えていただけるよう、恒例の歳末たすけあい募金を県下一斉に展開した。

ア 街頭募金・啓発等

(ア) 本 会

a 初日街頭募金

歳末たすけあい運動の開始を県民に周知することを目的に、ボランティア36名の協力を得て初日街頭募金を行った。

(a) 期 日 令和元年12月 1日

(b) 場 所 西鉄福岡（天神）駅周辺（福岡市中央区）

b NHK歳末たすけあい開始セレモニー等

NHK北九州放送局が実施した開始セレモニーに参加するとともに、福岡・北九州放送局に募金受付の窓口を設置して協力を呼びかけた。

(a) 開始セレモニー

・NHK北九州放送局 令和元年12月 2日

(b) 募金受付窓口の設置

・NHK福岡放送局 令和元年12月 1日から25日まで

・NHK北九州放送局 令和元年12月 1日から25日まで

(イ) 支 会

県内の13支会において歳末たすけあい募金の街頭募金を行った。

**(4) 地域課題解決型募金（テーマ型募金）の取組**

「福岡県内（広域）における地域や社会課題解決に向けて取り組む事業」を対象事業とし、下記参加団体及び本会により、1月から3月にかけて募金活動を展開した。

ア 参加団体

(ア) 特定非営利活動法人いるかねっと

a テ ー マ

「無料学習塾を25か所に増設！福岡の塾に通えない子どもを0（ゼロ）に！」

イ 振込用紙付きチラシの作成・配布

ゆうちょ銀行振込用紙付きチラシを5,000枚作成し、団体の関係者や協力者等へ配布した。

## 6 適正かつ効果的な配分の実施

### (1) 配分委員会の開催

- 第1回 令和元年 5月27日 春日市
- 第2回 令和2年 2月13日 春日市
- 第3回 令和2年 3月 6日 春日市

### (2) 配分調査

配分委員会委員による配分調査の実施

- ア 件数 24件
- イ 期間等 令和2年2月18日から3月2日までの間に延べ7人の配分委員と事務局職員により、実地調査及びヒアリングを実施した。

### (3) 配 分

配分委員会委員による配分調査及び同委員会における厳正な審査の結果として、令和2年3月6日、申請のあった社会福祉施設・団体・社会福祉協議会等への本年度の配分を次のとおり決定した。

なお、B枠及び地域歳末たすけあい募金については、支会の配分計画に基づき配分し、NHK歳末たすけあい募金については、歳末事業費、活動支援金、見舞金として配分した。

ア 一般募金

(ア) A枠（県域の施設・団体）配分

- ・配分件数 24件
- ・配分総額 32,770,000円

(イ) B枠（地域）配分

- ・配分件数 76件
- ・配分総額 469,476,000円

イ 歳末たすけあい募金

(ア) NHK歳末たすけあい募金配分（県域）

- ・配分件数 427件
- ・配分総額 12,244,000円

(イ) 地域歳末たすけあい募金配分

a 地域福祉・在宅福祉サービス事業

- ・配分件数 5,435件
- ・配分総額 70,245,812円

b 見舞金贈呈事業

- ・配分件数 3,471件
- ・配分総額 13,130,791円

## 令和元年度共同募金配分総括表

(単位 円)

配分枠		配分額
一般募金	A 枠	32,770,000
	B 枠	469,476,000
歳末たすけあい募金		95,620,603
合計		597,866,603

※平成30年度地域課題解決型募金（テーマ型募金）配分

配分額 120,500円（令和元年5月27日配分決定）

### (4) 公 告

社会福祉法第120条（結果の公告）に基づき、平成30年度（平成31年度事業）募金実績、配分内容等を掲載した機関誌「赤い羽根共同募金」を4,400部作成し、関係機関・団体に配布した。

また、本会ホームページに機関誌「赤い羽根共同募金」を掲載し、公開した。

## 7 福岡県社会福祉協議会（以下、県社協）との連携強化

### (1) 県社協との共催による福岡県社会福祉大会の開催

福岡県社会福祉大会 令和元年10月30日 春日市 1,001名

### (2) イベント募金等の実施

令和元年11月30日、中間市で開催された第19回福岡県ねりんスポーツ・文化祭（県社協が実行委員会事務局）において、「赤い羽根コーナー」を設け、共同募金の広報・啓発に努めるとともに、本会と中間市支会が協働して企業等の協賛によるチャリティー福引きを実施し、その収益金を共同募金として受け入れた。

## 8 顕彰の実施

### (1) 福岡県共同募金会会長表彰・感謝

ア 顕彰選考委員会の開催

令和元年 8月 5日 春日市

イ 福岡県社会福祉大会において次のとおり顕彰を行った。

(ア) 会長表彰 19名・2団体

(イ) 優秀地区（支会）表彰 22支会

(ウ) 会長感謝 66名・15団体

ウ 篤志寄付者に対する感謝を次のとおり行った。

(ア) 会長感謝 7名・110団体

## (2) 中央共同募金会会長表彰・感謝

ア 中央共同募金会顕彰規程に基づく奉仕功労者表彰、従事功労者表彰及び篤志寄付者への感謝の推薦を行い、次のとおり決定した。

- |               |        |
|---------------|--------|
| (ア) 会長表彰      | 5名     |
| (イ) 会長感謝（感謝楯） | 1名・5団体 |
| (ウ) 会長感謝（感謝状） | 5名・4団体 |

## (3) 厚生労働大臣表彰・感謝

ア 厚生労働大臣表彰実施要領及び感謝状贈呈要綱に基づく共同募金運動奉仕者・奉仕団体表彰及び多額の寄付者への感謝の推薦を行い、次のとおり決定した。

- |          |      |
|----------|------|
| (ア) 大臣表彰 | 該当なし |
| (イ) 感謝状  | 1団体  |

# 9 災害復興に対する支援

## (1) 災害等準備金の運用

災害等準備金は、社会福祉法の規定に基づく全国の申合せにより常に3年間分を積み立てており、令和元年度は、平成28年度から平成30年度の積立金を準備金とした。

ア 災害等準備金の取り崩し

3年間を経過した積立金については取り崩しを行い、令和元年度に再配分した。

令和元年度取崩金 20,970,593円（平成27年度積立分）

イ 災害等準備金の拠出

令和元年10月の台風19号災害の被災地における災害ボランティアセンター支援等のため、平成28年度積立分の一部を拠出した。

災害等準備金拠出額 15,500,000円

ウ 災害等準備金の積立て

災害支援制度運営要綱に基づき、令和元年度募金総額の3%を災害等準備金として積み立てた。

(ア) 令和元年度積立金 21,860,146円

(イ) 災害等準備金積立額 72,035,338円（令和2年3月31日現在）

## (2) 災害配分等引当金の配分

令和元年8月佐賀県豪雨災害の被災地における災害ボランティアセンターの支援等のため、本会独自の積立金である災害配分等引当金の一部を配分した。

災害配分等引当金配分額 1,303,232円

## (3) 他都道府県災害義援金募集

他都道府県で募集が開始された災害義援金について、各市区町村支会並びに福岡県庁、福岡

県社会福祉協議会に対し募集の協力依頼を行うとともに、本会ホームページに募集要項を掲載し、周知に努めた。

ア 平成28年熊本地震義援金

平成28年 4月15日から令和3年 3月31日まで

イ 平成30年7月豪雨岡山県災害義援金

平成30年 7月10日から令和2年 6月30日まで

ウ 愛媛県豪雨災害義援金

平成30年 7月11日から令和2年 6月30日まで

エ 平成30年7月広島県豪雨災害義援金

平成30年 7月12日から令和2年 6月30日まで

オ 平成30年7月豪雨災害義援金

平成30年 7月10日から令和2年 6月30日まで

カ 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

平成30年 9月12日から令和2年 3月31日まで

キ 令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金

令和元年 9月 2日から令和2年 8月31日まで

ク 京都府京都市伏見区で発生した放火事件

に係る被害者義援金

令和元年 9月 9日から令和元年10月31日まで

ケ 令和元年台風15号・台風19号・大雨

千葉県災害義援金

令和元年 9月17日から令和2年 3月31日まで

コ 令和元年台風第19号災害義援金（中央共募）

令和元年10月16日から令和3年 3月31日まで

サ 令和元年台風第19号災害義援金（茨城県）

令和元年10月16日から令和2年 1月31日まで

シ 令和元年台風第19号災害義援金（栃木県）

令和元年10月17日から令和2年 3月31日まで

ス 令和元年台風第19号災害義援金（岩手県）

令和元年10月18日から令和2年 3月31日まで

セ 令和元年台風第19号災害義援金（宮城県）

令和元年10月18日から令和3年 3月31日まで

ソ 令和元年台風第19号災害義援金（静岡県）

令和元年10月18日から令和2年 3月31日まで

タ 令和元年台風第19号災害義援金（長野県）

令和元年10月16日から令和3年 3月31日まで

チ 令和元年台風第19号災害義援金（福島県）

令和元年10月21日から令和3年 3月31日まで

- ツ 令和元年台風第19号災害義援金（群馬県）  
令和元年10月21日から令和2年3月31日まで
- テ 令和元年台風第19号災害義援金（埼玉県）  
令和元年10月17日から令和2年3月31日まで
- ト 令和元年台風第19号災害義援金（神奈川県）  
令和元年10月25日から令和2年1月31日まで

## 10 受配者指定寄付金の普及と活用促進

中央共同募金会の審査結果に基づき決定した寄付金を受け入れ、指定された事業に配分した。

- ア 寄付額 3件 68,982,085円  
イ 配分額 3件 67,302,444円

## 11 公益補助事業等への協力

### （1）令和元年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業

本会が推薦を行った施設整備費助成事業について、下記のとおり決定され、令和元年10月29日、北九州市小倉北区において、その贈呈式が行われた。

- ・件数 5件
- ・助成額 6,000,000円

### （2）令和元年度車両競技公益資金記念財団助成事業

本会が推薦を行った助成事業について、下記のとおり決定された。

- ア 高齢者、障害者の支援を目的とするボランティア活動に対する助成事業
- ・件数 9件
  - ・助成額 4,543,900円

### （3）「24時間テレビ」福祉車両贈呈事業

日本テレビやFBS福岡放送をはじめ、チャリティー加盟各社（全国31の放送事業者）が行う「24時間テレビ 福祉車両寄贈事業」について、市町村社協を通じ各施設・団体・個人への周知等に協力した。